

家族で共通の「ことば」ってすごい！！

—世界に通じる力を育てる—第 88 号

メルマガご愛読の皆様、こんにちは。

NPO 法人多言語広場(ピアザ)CELULAS の尾本です。

(以下セルラスと表記します)

6 月 1 日に東京オリンピックの聖火リレーの概要が発表されましたね。

セルラスメンバーの中にも今年のラグビーワールドカップや

東京オリンピックのボランティアに申し込んでいる人がたくさんいます。

彼らがどんなふうに様々な人とコミュニケーションを楽しんでくるのか、

今から報告が楽しみです。

セルラスでは現在 5 カ国語にやっていますが、ただそれを流暢に話せる、

ということだけを目指しているわけではありません。

「多言語をやることで外国の方だけでなく、どんな方とも『話そう！聴こう！』と思えるようになった。」という話をメンバーからよく聞きます。

そこにはきっとスキルだけではない「人と向き合うコミュニケーション」

というものの世界が垣間見えているのかもしれない。

今回は 3 月のセルラス講演会に参加され、入会されたご家族のお母さんが書かれた手記です。

多言語の世界に触れることで、家族のコミュニケーションが

どのように変化してきているのか、どうぞじっくりとお読みください。

『「ことば」で変わる家族のコミュニケーション』

海老名市在住 近藤裕美さん

(家族構成:夫・娘 5 歳・息子 3 歳)

私はずっと英語が話せるようになりたいと思っていました。

ただ、自分 1 人だけで英語を習いに行くのは…と思っていた時に、

セルラス講演会のチラシを娘が幼稚園から持って帰ってきました。

最初は「子供と一緒に参加できる英会話教室？」というくらいの認識で講演会に参加しました。

しかし、講演の中で、赤ちゃんがことばを話せるようになる環境に何が必要なのかということや、

その環境をみんなで創って母語の様にことばを習得していく方法は、

子育て真っ最中の私にとっては非常に納得のできる内容でした。

大した説明もしなかったのですが、不信感いっぱいの夫でしたが、家族全員で体験会に参加したところ

「この方法は自分が会社で受けている英会話のレッスンよりもずっといい！
風景を感じながら体を動かすと、雑音がことばに変わる。」とっていました。
そして入会を決断し、家族4人で毎週のピアザ(※1)に参加することになったのです。

(※1)ピアザ

メンバーが集い多言語活動を行う場 イタリア語で『広場』の意味

【共有する時間】

入会して2カ月が経ちました。
前と何が変わったかと言えば、まずは家族の結束が強くなった印象です。
4人で共有する時間が増え、前向きな会話が多くなりました。

うちはどちらかというと家に籠りがちで(私は出かけたいたのですが…)、
そんな我が家が週に1回一緒に出かけていることは大きな変化だと思っています。

【娘、自分、そして夫の変化】

次に5歳の娘との関係も大きく変わってきています。
私は以前から娘に対して、「どうしてもっと優しくできないのだろう」と悩んでいました。
なぜなら娘はすこし怒りっぽいところがあり、
私もつい声を荒くして対応してしまうことが多いからです。

しかし最近では、そんな時に思わずストーリーの中のことばである
“そんなに怒らなくてもー”を多言語で言ったりしています。
すると娘は「怒ってないもーん！」と、ニヤリとするのです。
多言語であっても私が何を言っているのかははっきり分かっているからです。

他にも、ギャーギャー言われるとつい「待ってって言ってるでしょ！」と
今まで怒って言っていたが、“Just a minute, please”や
“チョコクンマン キダリセヨ〜”とストーリーの中のことばで返事をしています。

そんな風に多言語を口にするときは、私は思わず笑っています。
そのせいか娘もイライラせず穏やかになることが増えました。
今までイライラしていたことが楽しみに変えられたのは、すごく大きなことだと思っています。

そして私だけではなく、一緒に活動をしている夫も変わってきています。
夫は比較的に子供に厳しいのですが、多言語を使うことでことばが柔らかくなり、
活動を通して子供の良いところを見つける機会が、増えたように思えます。

【子供の音をとらえる能力に衝撃】

子供たちは、講演会での理事長のお話通り、すごいスピードで多言語を吸収していています。
私がふとお話の中の一言である“ロシエントムーチョ”と口にすると、
娘がその続きの部分をスペイン語でペラペラと言いだします。

“チョナダ〜”と言えば、それもお話の最後まで韓国語で言ってしまうのです。
なかなか自分には出来ないことをやっている娘を、思わず本気で褒めていると同時に、
心から尊敬してしまいます。

娘にとっては、「親よりも圧倒的に上手にできることがある」ということが
自信につながってきているのか、以前より積極的になり、
人とうまく関わられるようになってきました。

3歳の息子は、ピアザに来て走っているか？寝てるか？のどちらかです。
ですが、私が韓国語の自己紹介を家で練習している時に
「あれ！？最後はハムニダだっけ？イムニダだっけ？」とつぶやいた途端、
「イムニダだよ。」と、すかさず教えてくれました！

子供は黙っていても聴いているものなのだと感心してしまいました。

【共有するって楽しい！】

気づけば多言語はいつも我が家のそばにあり、ピアザの仲間の話題もよく出てきます。
家族全員が同じ趣味を持ち、共通の友人、共通の言語があるって、こんなに楽しいことなんだ！
と最近感じます。

セルラスに入会してたった2カ月ですが、今ではないことが考えられないほどです。
これから先、多言語やピアザを通して家族の絆がもっと深まっていくことや、
そしていつか私も話せる日が来るのかな、と思うとすごく楽しみです。

いかがでしたでしょうか？

家族で活動し、共有するものが多いからこそ「ことば」を受けとめ合うことができ、
ことばが成長する。

それが家族の絆、そしてコミュニケーションへと繋がっていくのは、とてもステキですね。
家族と一緒に活動するセルラスの環境だからこそだと感じます。

《セルラスインフォメーション》

◆初夏の講演会「世界に通じる力を育てる」が各地で行われます。
まだ参加したことのないご家族やお友だちにぜひご紹介ください。

▼関東

<杉並区>

東高円寺

6/6(木) セシオン杉並 10:00～12:00

荻窪

6/10(月) 荻窪タウンセブン 10:30～12:30

<飯田橋>

7/2(火) 10:00～12:00

7/2(火) 18:55～20:55

※同日2回、同内容で行います。

▼関西

<大阪>

阿倍野

6/17(月) 阿倍野区民センター 10:15～12:15

6/18(火) 阿倍野区民センター 10:15～12:15

天王寺

6/25(火) 天王寺区民センター 10:15～12:15

天満橋

6/26(水) 大阪府立男女共同参画・

青少年センター(ドーンセンター) 10:15～12:15

お申し込みはホームページ <http://www.celulas.or.jp>

または本部事務局 03-5333-8202 info@celulas.or.jp までご連絡ください

★メルマガをお読みになった皆様のご意見、ご感想を是非お寄せください。

今後の配信の参考にさせていただきます。

アドレスはこちら → kouhou@celulas.or.jp

このメールマガジンは、セルラスの会員をはじめ、これまでセルラスが開催した講演会、セミナーに参加されるなど、

私たちの活動にご興味を寄せていただいた皆さんにお送りしています。

セルラスの多言語活動や多文化体験、楽しい交流の様子などを、

より多くの皆さんに知っていただくために発行しています。

日頃の私たちの活動やご家族で参加していただけるイベントや講演会などのお知らせを、3週に1回の予定でお届けします。

☆-----☆

—世界に通じる力を育てる—

NPO 法人 多言語広場 CELULAS

TEL:03-5333-8202

☆-----☆